

地域の方々に感謝を込めて

白石高校吹奏楽部が通学路などでごみ拾い

10月11日、市中心部で白石高校吹奏楽部の部員とその保護者など約40人が参加して通学路沿いなどに落ちている空き缶やペットボトルなどのごみを拾い集める清掃奉仕活動を行いました。

この活動は今年で9年目を迎える、旧白石女子高校吹奏楽部時代から続く恒例行事です。活動を終えた山家美月部長は「いつもお世話になっている地域の皆さんに対する感謝の気持ちを込めて清掃活動を行いました。これからも積極的にこのような活動を行いたい」と笑顔で話してくれました。



▲通学路のごみを拾い集める部員たち

高校生がアニソンをバンド演奏

第10回杜の都ロックコンサート

10月5日、第10回杜の都ロックコンサート（青少年音楽フェスティバル実行委員会主催）がホワイトキューブで開催されました。この日は、県内外の高校生バンド14組が、「初音ミク」などのボーカロイドが歌う楽曲や人気アニメの曲を演奏。会場はジャンルを超えて盛り上がりました。午前中に行われたワークショップには、市内の小・中学生11人が参加。ギターやベースなどの楽器を実際に演奏しました。津村経夫同実行委員長は「子どもたちが音楽に興味を持ち、このイベントを続けていくことができればうれしい」と話してくれました。



▲コスチュームを身につけパフォーマンスする高校生たち

100歳おめでとうございます

古山きくよさんに松竹梅敬老祝金を贈呈

9月30日、満100歳を迎えた古山きくよさんを佐々木徹副市長が訪ね、松竹梅敬老祝金と祝詞を贈り長寿を祝福しました。きくよさんは小原のご出身で、結婚後、家業の農業に従事しながら4人の子どもを育てました。現在は孫が8人、ひ孫が7人います。施設入所前は新聞を毎日読み、近所の友達とお茶飲みを楽しみにされていたそうです。ご家族は、きくよさんの長生きの秘訣を「好き嫌いなく何でも食べることと、散歩や体操をするなど体を動かして健康管理をしっかりしていたことではないでしょうか」と話してくれました。



▲きくよさんの長寿を祝うご家族やご親族と施設職員

水泳を通して交流と友情を深める

姉妹都市親善水泳大会

9月14日、市制施行60周年と海老名市との姉妹都市締結20周年を記念した「姉妹都市親善水泳大会」がパシフィックランドろいしで開催されました。

大会には登別市16人、海老名市16人、白石市18人の計50人の小学生水泳選手が参加。「自由形50m」「平泳ぎ50m」など個人4種目とリレーで熱戦を繰り広げ、当市の選手では、白石第二小学校5年生の山口彰太くんが「平泳ぎ50m」で1位になりました。

試合後には、歓迎昼食会も行われ、参加した選手たちは、水泳競技とおして交流と友情を深めていました。



▲スタートの合図と同時に、一斉に飛び込む選手たち

音楽で復興支援

白石城下町コンサート

10月13日白石城下町コンサート（白石市民吹奏楽団主催）がホワイトキューブで開催されました。この催しには、同吹奏楽団員のほか、白石、東、福岡中学校吹奏楽部員と、白石、白石工業高等学校吹奏楽部員の総勢約150人が出演。単独演奏ステージでそれぞれ2～3曲、合同演奏ステージで3曲、計15曲を演奏しました。

コンサートの最後は、観客たちのアンコールに応え、出演者全員で「栄光をたたえて」を合同演奏。550人を超える観客たちは、迫力ある吹奏楽の素晴らしさを感じていました。



▲全員で演奏した「栄光をたたえて」。迫力ある音色を奏でた

きれいな沢端川を守るために

秋の沢端川清掃活動

9月27日、春秋恒例の行事「沢端川清掃活動」がいききプラザ周辺などで行われました。春と秋の川干に合わせて、平成16年から白石市観光協会と白石商工会議所が共催で行っているこの行事。毎年、市内の企業や団体、個人などが早朝から集まり、ボランティアで沢端川や片倉家御廟所などの観光地の清掃活動を行っています。今年は天気にも恵まれ約400人が参加。参加者は「鯉のためにもきれいな沢端川を保ちたい」と、水が引いた沢端川の川底に降り、空き缶やペットボトルなどのごみを拾ったり、周辺の雑草を刈り取ったりしていました。



▲沢端川の川底に降りごみを拾う参加者たち

夕暮れの運転にはご注意を！

秋の交通安全運動県民総ぐるみ運動

9月24日、白石地区交通安全協会の皆さんがヨークベニマル白石店で交通安全を呼び掛けました。この運動は、9月21日～30日にかけて行っている「秋の交通安全県民総ぐるみ運動」にあわせて毎年実施。この日は、同協会員など約30人が参加し、交通安全啓発のチラシを配ったり、沿道にのぼりを持って立ったりしました。チラシを受け取った市民は「安全運転を心掛けながら運転したい」と話してくれました。

市内では、10月17日に交通死亡事故が発生。普段から交通安全を心掛けましょう。



▲交通安全を呼び掛ける同協会員たち

ごみを拾って交流深まる

市内一斉クリーン作戦

9月28日、春秋恒例の行事「市内一斉クリーン作戦」が市内全域で行われました。毎年春と秋の年2回、市民の皆さんがボランティアでごみ拾いを行っています。この日は7,058人が参加。可燃ごみ7,690kg、不燃・粗大ごみ3,640kg、資源ごみ3,650kgの総計14,980kgのほか、タイヤ119本やリサイクル家電39台などが拾い集められました。参加者は「こんなにもごみがポイ捨てされていることはショックですが、近所の皆さんと交流を深めながら、自分の住む地域がきれいにできるので気持ちがいい」と笑顔で話してくれました。



▲早朝からごみを拾い集める参加者たち